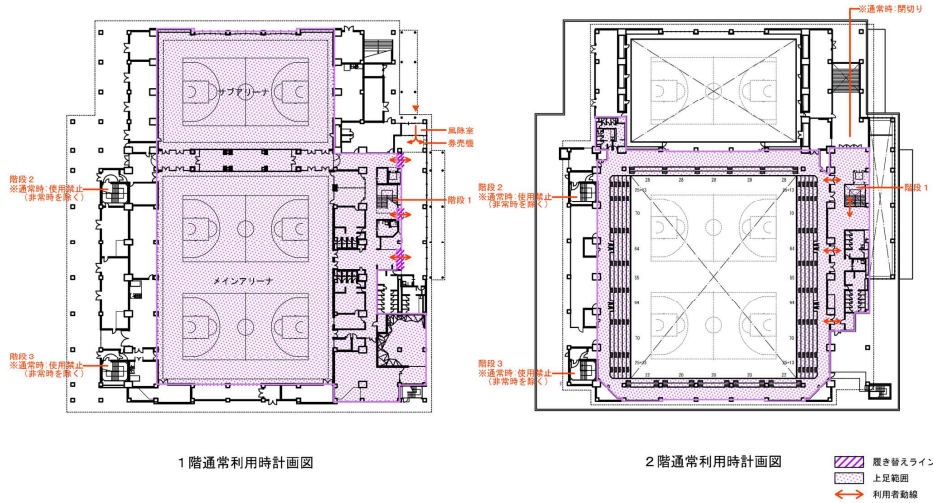


### 1-4-5 利用形態別ゾーニング計画

新体育館では、「通常利用」「大会利用」「イベント利用（プロ興行等）」「災害時」の4つの利用形態に適したゾーニングと諸室配置を行います。

#### 1-4-5-1 通常利用時のゾーニング計画

- ・通常時の人の流れは、1階風除室→チケット購入（券売機）→履替え→更衣となります。
- ・履替え位置はエントランスホールとの境で行い、アリーナや更衣室は上足エリアに配置し、競技者の移動をしやすくします。トイレはラウンジ利用者と兼用とするため下足エリアに配置します。履替え位置をラウンジ側にする事で、競技エリアに雪を持ち込むことを避けることができます。
- ・2階へ上がる階段1を上足エリア内に配置し、ランニングコースを上足のまま移動できる計画とします。
- ・入退館の管理をしやすくするため、2階イベント用入口からの出入りさせない計画とします。



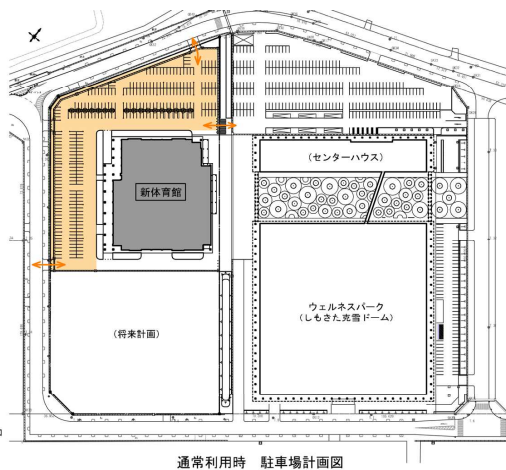
1階通常利用時計画図

2階通常利用時計画図

履き替えライン  
上足範囲  
利用者動線

#### 【駐車場】

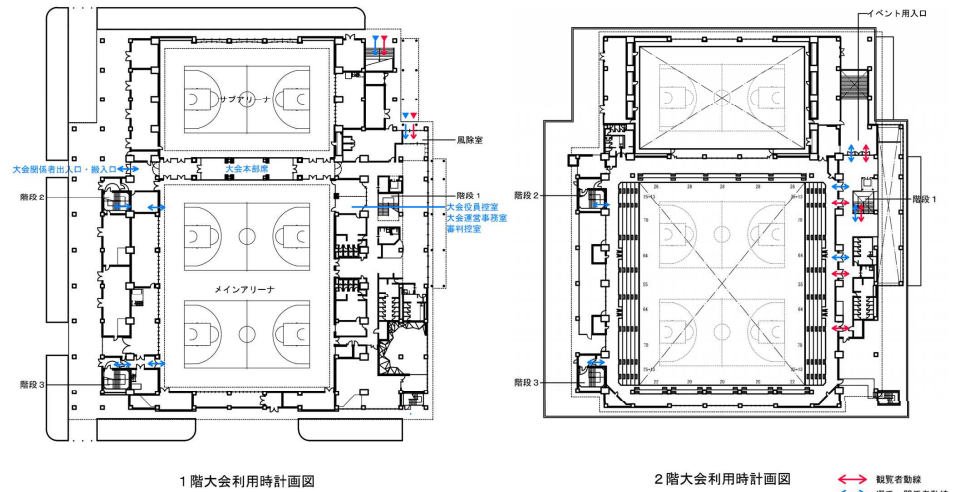
駐車場は、ウェルネスパークと連携しやすい、北側駐車場を主に利用します。台数が不足する場合は西側駐車場も利用します。



通常利用時 駐車場計画図

### 1-4-5-2 大会利用時のゾーニング計画

- ・大会利用時は、観覧者・チーム関係者・大会関係者の3つの動線がありますが、場合により立場が入れ替わるため、明確なエリア分けや動線分離は難しいと考えます。
- ・出入りの混雑を避けるため、選手・関係者専用の出入口を設けます。
- ・原則履き替えは行わない計画とします。
- ・主な出入口として
  - 【観覧者】直接観覧席へと移動できる2階イベント用入口と、1階風除室を主に利用します。
  - 【チーム関係者】観覧者と同じ出入口を利用します。道具の搬入出は西側の関係者出入口を利用します。
  - 【大会関係者】大会関係諸室に近い西側の出入口を主に利用します。
- ・大会関係諸室は既存室を転用して利用し、効率化を図ります。
- ・選手が観覧席からアリーナにスムーズに移動できるように、建物西側の階段2・3を利用可能にします。



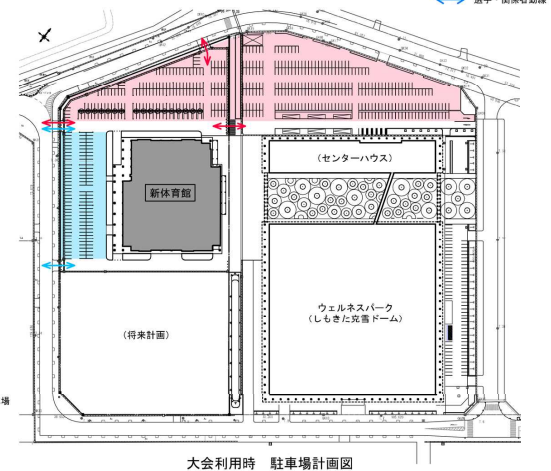
1階大会利用時計画図

2階大会利用時計画図

観覧者動線  
選手・関係者動線

#### 【駐車場】

- ・大会利用時は交通量も増加するため、北西角の出入口に誘導員を立てて利用する計画とします。
- ・観覧者用駐車場は、北側駐車場とウェルネスパークの駐車場の利用を検討します。
- ・選手及び大会関係者用駐車場は、大型バスを含め西側駐車場の利用を検討します。



大会利用時 駐車場計画図

<凡 例>  
観覧者利用駐車場  
選手・関係者利用駐車場  
観覧者出入口  
選手・関係者出入口

### 1-4-5-3 イベント利用時のゾーニング計画

プロスポーツ興行を対象に検討します。観覧者、チーム関係者、運営関係者、メディアの4つの動線があります。スムーズな興行運営において、4つのエリアと動線を明確に分離することが重要です。

#### 【観覧者エリア、動線】

- ・たくさんの観覧者を効率良く、安全に移動させるため、入場は全て2階イベント用入口とします。（一部障がい者は1階風除室を利用します）
- ・入口部分にもぎりスペースを設け、入場管理を行います。
- ・2階ホールはフード、グッズなどの物販スペースに転用します。
- ・観覧席は、2階から1階に向かい移動する形式として、1階の選手ゾーンとの動線の交錯を避けます。（火災等の災害時は1階からも避難します。）
- ・トイレと車いす利用者の入退館のため、1階の一部を観覧者エリアとします。

#### 【チーム関係者エリア、動線】

- ・チーム関係者の出入りは、観覧者やメディアと交錯しないよう西側に設けます。
- ・堆雪デッキ下にチームバスを駐車でき、雨に濡れずに乗降可能です。
- ・サブアリーナはウォームアップコートとして利用します。仮設観覧席の下を通路として利用し、更衣室からサブアリーナまでの専用動線を確保します。

#### 【運営関係者エリア、動線】

- ・運営関係諸室は、多目的室を転用します。
- ・スムーズな運営を実現するため、複数の出入口と全体を回遊できる「ループ動線」を確保します。

#### 【メディア動線】

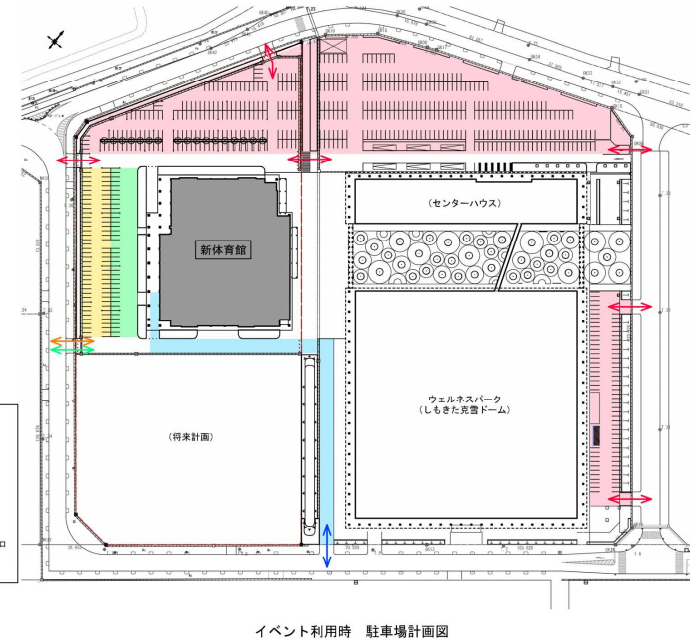
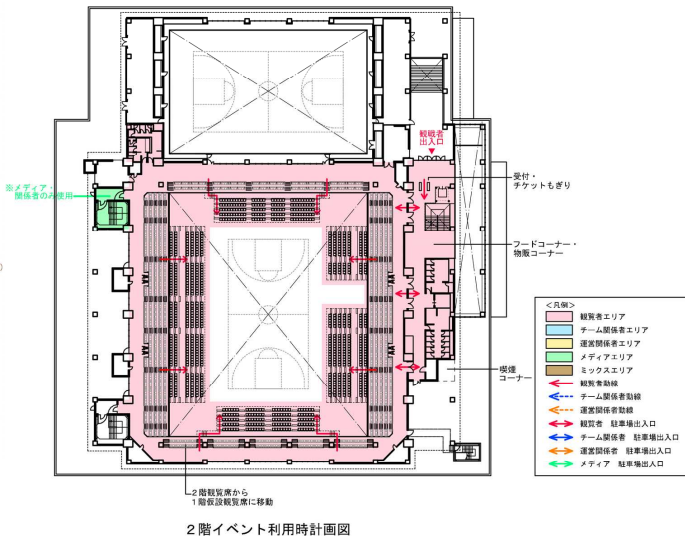
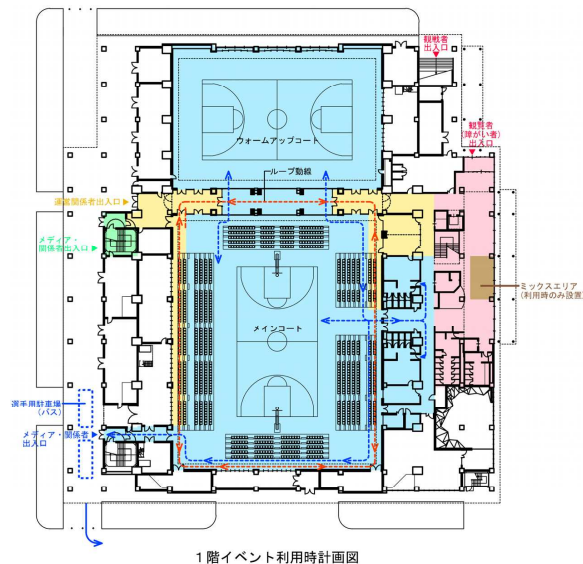
- ・西側駐車場から直接出入り可能な階段室2付室と搬入出口を利用します。中継車や電源車は西側搬入出口付近を想定します。
- ・2階観覧席にメディア席を想定します。（図中では表示していません。）
- ・メディア関係者の移動は運営関係者動線と兼用し、選手動線は利用しません。

#### 【ミックスエリア】

- ・選手と記者、テレビ関係者、ファンが接することができる「ミックスエリア」を設定します。
- ・ミックスエリアは、利用時に観覧者エリア（1階ラウンジ）を区分し、チーム関係者エリアと運営関係者エリアの近くに配置します。

#### 【駐車場】

- ・利用エリアと出入口を明確に分離し、各々の車両動線が交錯しない安全な計画とします。
- ・観覧者用駐車場はウェルネスパーク駐車場と、周囲の空地を利用した仮設駐車場を含め確保します。



1-4-5-4 災害時のゾーニング計画

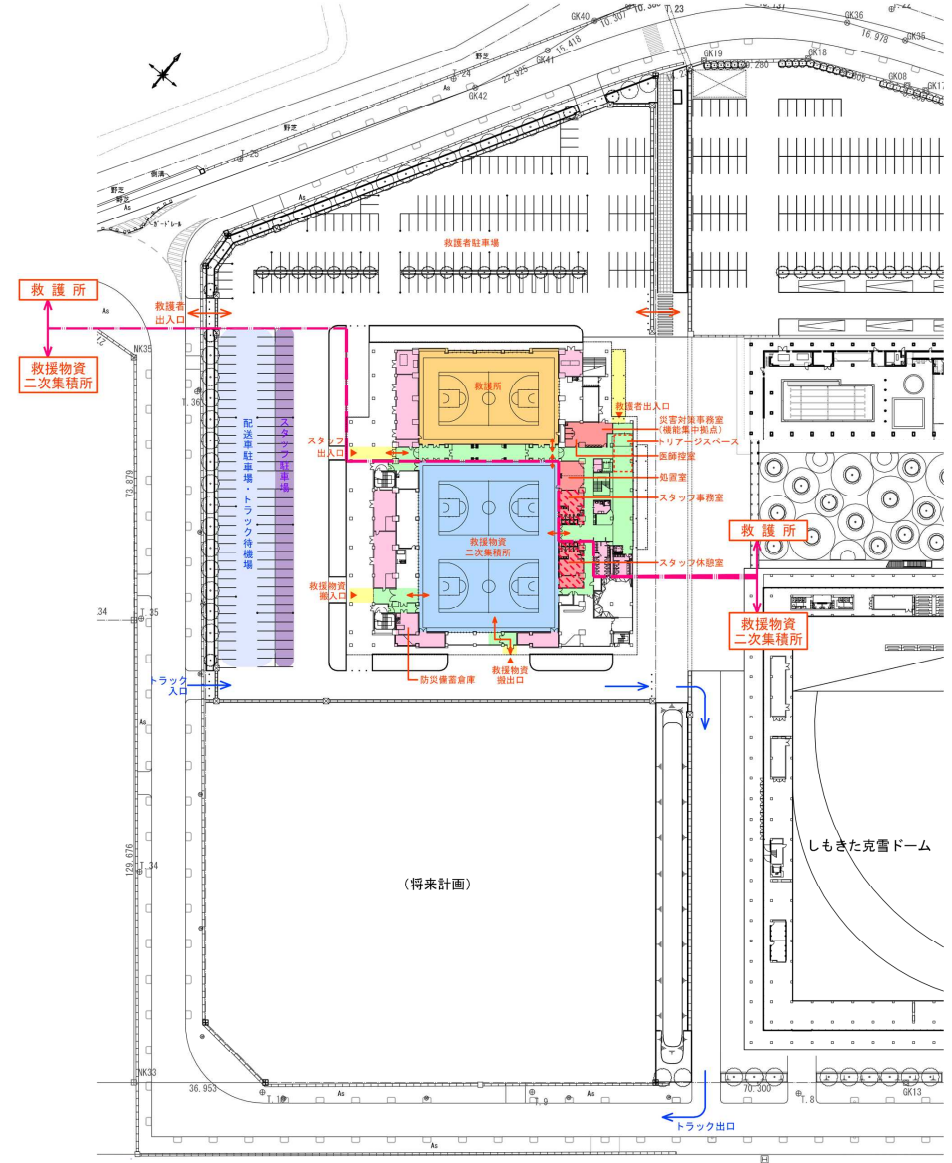
・新体育館の耐震安全性は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成8年版（建設大臣官房官庁営繕部監修）」及び「むつ市新体育館 基本構想・基本計画」より下表とします。

部 位	分類	耐震安全性の目標
構造体	Ⅱ類	大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られている。
建築非構造部材	A類	大地震動後、災害応急対策活動や被災者の受け入れの円滑な実施、または危険物の管理のうえで、支障となる建築非構造部材の損傷、移動等が発生しないことを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。
建築設備	甲類	大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られていると共に、大きな補修をすることなく、必要な設備機能を相当期間継続できる。

・災害時には、「むつ市国土強靱化地域計画」に基づき、以下に示す機能転用を行います。（2階の利用なし）

- メインアリーナ → 救援物資二次集積所
- サブアリーナ → 救護所
- ラウンジ → トリアージスペース
- 事務室 → 災害対策事務室（指揮機能集中拠点）
- 医師控室
- 多目的室 → 処置室
- 更衣室1・2 → スタッフ事務室、スタッフ休憩室

- ・救護所と救援物資二次集積所は活動時間帯、機能も異なるため、屋外・屋内共に動線を分離し、安全で効率の良い動線計画とします。
- ・機能転用に伴う設備の稼働範囲を右図に示します。各エリアの機能に合わせ、設備の運転制限を行い、発電機容量の効率化を図ります。
- ・発電機の稼働時間は72時間（3日分）とし、燃料はウェルネスパークと同じA重油を使用し燃料の互換性を持たせます。
- ・電源車からの電源供給可能なシステムを構築し、電気室近傍屋外に盤を設置します。
- ・救護所、処置室は応急処置程度とし、重篤な患者は病院に搬送するものとし、医療ガス、医療用電源の供給は行わない計画とします。
- ・防災備蓄倉庫は約60㎡確保します。
- ・救援物資の搬入は西側の搬出入口を利用します。搬出は南側の出入口を利用します。共に上部に屋根があり、物資の積み下ろし時に雨や雪を避けることができます。
- ・メインアリーナの床は、フォークリフト（電動式、車両重量2.7t、最大載荷1.5tを想定）の走行や、救援物資の荷重に配慮します。



災害時ゾーニング計画図

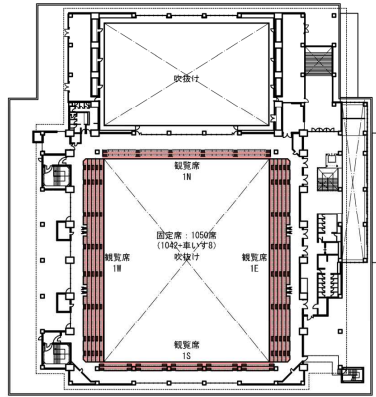
<凡例>	
照明：100%稼働、空調（冷暖）、換気、通信	照明：間引き点灯、換気
照明：間引き点灯、空調（冷暖）、換気	照明：間引き点灯
照明：間引き点灯、換気	外部照明：間引き点灯
照明：間引き点灯、空調（冷暖）、換気	

※2階は利用しないため、EV・階段は対象外。ただし、階段は建築基準法による非常用照明設備が点灯。

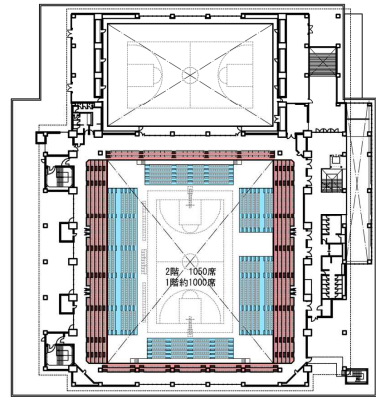
## 1-4-6 観覧席計画

### (1) 観覧席数とレイアウト

新体育館では、メインアリーナに固定席1,042席、車いす席8席、合計1,050席を設ける計画とします（避難計画、構造計画により若干の変更がある可能性があります）。サブアリーナには、立見用のギャラリーを設けます。また、プロスポーツ興行時は、1階に仮設席約1,000席を配置し、合計2,000席以上を確保できる計画とします。



大会利用時の座席レイアウト

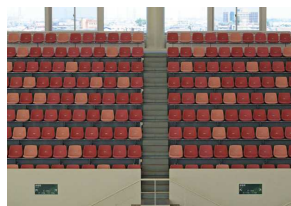


プロスポーツ興行時の座席レイアウト

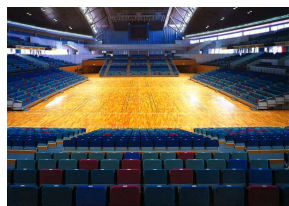
### (2) 観覧席仕様

観覧席は、耐久性が高く、清掃性の良い高密度ポリエチレンロー成型品で検討します。豊富なカラーバリエーションを利用し、座席のカラーリングパターンを検討します。仮設スタンドは興行時に設置します。

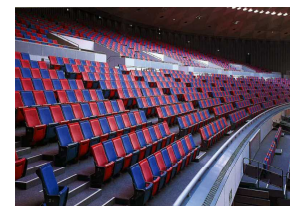
	タンDEMシート(背有り)	タンDEMシート(背無し)		タンDEMシート(背有り)
外観写真				
採用	メインアリーナ			
コスト比較	1.14	1.07	1.00	1.50
材質・成形法		高密度ポリエチレン ロー成型 (清掃性が良く耐久性が高い)		樹脂含浸ぶな成形合板 (高級感がある。手入れが必要)
イメージ写真				



ダイエープロフェニックスプール (新潟県)



群馬県総合スポーツセンター



大阪市中央体育館  
写真提供：コトブキシーティング株式会社

### (3) 観覧席の視線検討

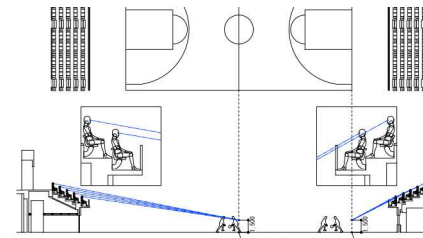
プロスポーツ興行時には、どの席からもコートが見渡せる傾斜角となるよう計画し、観客がストレスなく観戦できるサイトライン（視線）を確保します。サイトラインは、コート端部のエンドラインとコート中央の2箇所で、床面から1.5mの点で検討します。

#### 1. 大会利用時の視線検討

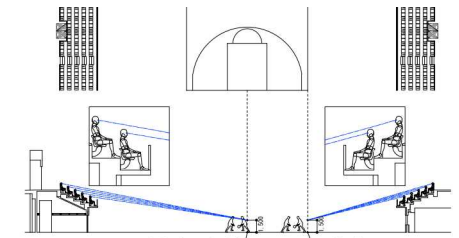
観覧席1E・1Wに対し直角方向のコートレイアウトとなるため、エンドラインが観覧席に近くなります。エンドライン付近は前列者の肩越しになりますが、コート中央付近では前列者の頭越しに視線が通ります。

#### 2. プロ興行時の視線検討

観覧席1E・1Wに対し平行のコートレイアウトとなるため、エンドラインが遠くなり見やすくなります。エンドライン付近でも前列の人の頭越しの視線が通ります。



大会利用時のサイトライン

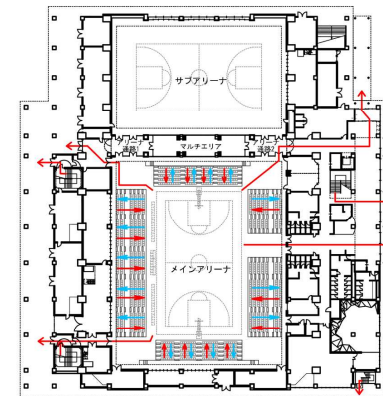
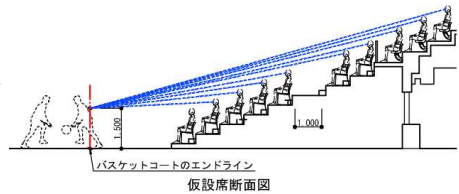


プロスポーツ興行時のサイトライン

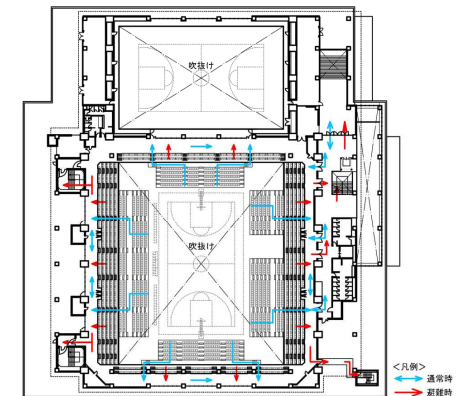
### (4) 仮設席及び避難計画

プロスポーツ興行時には、1階に仮設席を設けません。2階から1階に移動できる縦通路と、中間（高さ3mの範囲内）に巾1mの横通路を設け、避難安全性を確保します。

通常は2階の出入口を利用しますが、避難時は1階フロアへも避難誘導します。



1階避難計画図



2階避難計画図

### 1-4-7 バリアフリー計画

子どもから高齢者まで、誰もが安全に安心して利用できるよう、人にやさしい体育館づくりを目指し、下記の法令に準拠した計画を行います。

#### (1) 準拠する法令

- ・青森県福祉のまちづくり条例 整備基準
- ・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 整備基準
- ・むつ市特定公園施設の設置に関するバリアフリー化基準を定める条例
- ・むつ市特定公園施設の設置に関するバリアフリー化基準を定める条例施行規則

#### (2) 対応範囲の協議が必要な法令

定常的に集客を目的とする劇場や競技場を対象とした基準のため、対応範囲については使われ方や維持管理、コストを含め協議が必要な内容が含まれます。

- ・青森県福祉のまちづくり条例 誘導的基準
- ・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 誘導基準省令
- ・官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準及び同解説平成18年版（国土交通省大臣解剖官庁官繕部監修）

### 1-4-8 エレベーター計画

車イスやお年寄り、ベビーカーなどでも安心・安全に利用できるよう、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 誘導基準省令」の不特定多数が利用するエレベーターの基準、および「官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準及び同解説」に準拠し、

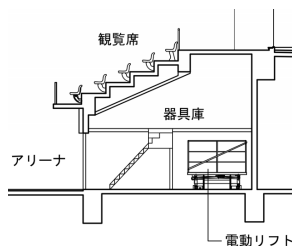
「13人乗り乗用（45m/min）（入口幅90cm、カゴ奥行き135cm、カゴ幅160cm）、窓付扉」

を1台設置を検討します。

### 1-4-9 器具庫計画

器具庫はアリーナに面して十分な開口を確保できる配置とし、競技種目に必要な器具を十分に収納できる面積を確保し、将来の予備スペースを含めた計画を行います。

また、1階の5.2m階高を利用し、中間に床を設けた2層式として、空間を有効に利用します。上段には主に、使用頻度の低い器具や、軽量の器具を収納します。上段への器具の運搬は電動リフト（備品工事）を使用します。



### 1-4-10 サイン計画

#### (1) 基本方針

- ・多くの利用者が、必要とする情報をわかりやすく得られ、施設内の移動や行動が円滑に進むようなサイン計画とします。
- ・案内サインは、「ウェイファインディング※」の概念を取り入れ、利用者によりわかりやすいサインシステムを提案します。（色・サイズ・ピクトなど）  
※ウェイファインディング：サインシステムや色彩計画、内装のしつらえなどを活用し、誰もが速やかに正確に目的地へたどり着くことのできる、わかりやすい誘導方法。
- ・アイキャッチ、文字、図柄を用い、サインの属性（誘導、室名等）と色をマッチングさせ、直感的に理解しやすいサイン計画とします。
- ・色使いはそれぞれの補色関係の色調でバランスを取り、見やすさを追求します。
- ・階や機能別の色設定など、色によるウェイファインディングを取入れたサイン計画とします。
- ・ピクトサインはJIS規格に準拠し、誰もが理解できるデザインを採用します。
- ・案内や室名は日本語と英語の2カ国語を基本とし、その他外国語表記を検討します。
- ・案内サインには点字を併設します。（視覚障がい者の誘導は人的対応とします。）



「ウェイファインディング」の概念を用いたサイン誘導例

#### (2) 書体・ピクトグラム（参考）

和文書体：AXIS Std	和文書体と欧文書体との相性が良く、可読性にも優れたすっきりとしたデザインの書体です。
欧文書体：DIN OT	ドイツの工業規格フォントで高速道路標識に用いられ、可読性が良くスタンダードでありながらも美術館やグラフィックデザインにも用いられ、デザイン性も高い書体です。
和文書体：AXIS Std R 縦横比：100%	和文書体：AXIS Std M 縦横比：100%
亜医宇江尾化機句気庫差氏須瀬蘇田地津手戸奈武抜 あいうえおかきくけこさしすせそたちつてつたにニヌネノ	亜医宇江尾化機句気庫差氏須瀬蘇田地津手戸奈武抜 あいうえおかきくけこさしすせそたちつてつたにニヌネノ
欧文書体：DIN OT Regular 縦横比：100%	欧文書体：DIN OT Medium 縦横比：100%
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 012345678910	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 012345678910
文字組	一般的に公共施設で使用されることが多い、和文と英文の比率10：5を採用します。
ピクトグラム	交通施設、業施設等の国内諸施設に使用されることを目的として策定された交通エコロジーモビリティ財団のピクトを使用します。

## 1-5 立面計画

### 1-5-1 外観計画の考え方

#### (1) 景観との調和

新体育館は、周辺エリアを含めた都市公園の中心施設として、むつ市の新たなレクリエーションスポットとなります。既存のウェルネスパークと連携し、スポーツ推進の拠点施設になることから、以下を重視した外観計画とします。

- ・ 南側に広がる陸奥湾、西側遠方にそびえる釜臥山との調和
- ・ しもきた克雪ドーム（幅約126m、高さ約40m）との調和
- ・ 市民に親しまれシンボルとなるデザイン
- ・ 景観に配慮したライティングデザイン

#### (2) 安全で敷地を有効利用できる落雪・堆雪計画

金属屋根の雪は下階に落とし、屋根への構造負荷を軽減します。外周部に面して堆雪デッキや陸屋根を配置し、雪を地上に落とさないよう計画します。加えて、建物周囲には植栽帯を設け、万が一の落雪事故防止に配慮します。屋根形状や外構計画を踏まえ、落雪処理は以下の方針とします。

- ・ アリーナは雪を「落とす」屋根形状とし、アリーナ部以外は陸屋根とします。
- ・ 敷地を有効利用し、落雪による事故を防ぐため2階レベルに堆雪デッキを設けます。

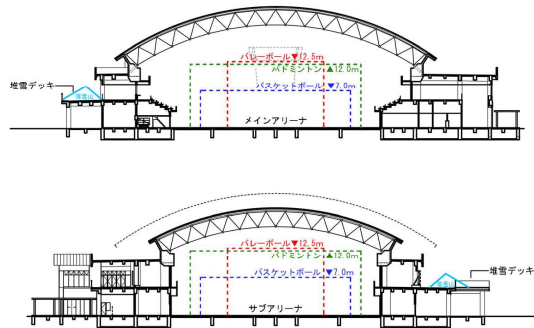
#### (3) 維持管理のしやすい外装計画

前述の方針を踏まえ、以下の点に留意し、主たる外装を検討します。

- ・ 高耐候性材料の選定（塩害対策）
- ・ 維持管理のしやすい耐用年数の長い材料の選定（建築物の長寿命化、ライフサイクルコストの縮減）
- ・ しもきた克雪ドームとの一体感（景観との調和）

### 1-5-2 断面計画の考え方

各アリーナの天井高さ（鉄骨トラス下端高さ）は頂部においては、バレーボール公式規格による12.5mを、端部においてはバドミントン公式規格12.0mを確保できる断面計画とします。



北東外観イメージ



南東外観イメージ

※外観イメージ図は実施設計作業において変更となる場合があります。

## 1-6 内装計画

### 1-6-1 エントランスホールの内装計画

#### (1) 市民の交流とスポーツ推進の広場～エントランスホール～

「市民のための体育館」の顔となるエントランスホールは、2層吹き抜けの明るく開放的なつくりとします。市民ワークショップでいただいた意見を元に、スポーツのためだけでなく、友達とのおしゃべりや、読書、勉強など様々な使い方ができる多目的な利用を想定します。

##### ■カフェコーナー

期間限定でカフェ等の誘致企画にも対応できるよう、電源と給排水を準備したコーナーを検討します。

##### ■みんなの掲示板

エントランスホール内に市民が自由に貼れる掲示板を設けます。チームメイトや対戦相手を募集したり、売ります・買います、質問コーナーやイベント告知など、情報発信スペースとして活用します。

##### ■キッズコーナー

自由に利用できる計画とし、オープンなつくりとして遊具などを配置します。

##### ■ラウンジ

複数人で集まったり、PCを利用できる家具、スポーツ関連の図書コーナー、チームミーティングやオープンセミナーなどに利用できるよう検討します。

##### ■維持管理のしやすくぬくもりを感じられる内装計画

床：丈夫で維持管理のしやすい材料として、屋外の広場と一体感のある材料を検討します。

壁：構造体をそのまま現したコンクリート打ち放しと塗り替えの効く塗装を主に検討します。

天井：岩綿吸音板やグラスウールボードなどの吸音性能のある材料を検討します。

造作：手すりや化粧材、家具などに県産木材の使用を検討し、ぬくもりのある空間づくりを行います。

#### (2) 安全でプロユースにも応えられるアリーナの内装計画

アリーナは、日常的なレクリエーション利用から、県大会や国体などの大規模大会にも十分に応えられる設えとします。

床材：大型の総合体育館やプロスポーツリーグでも利用実績のあるビニール系スポーツフロアの採用を検討します。木製フローリングと比較して、維持管理がしやすく更新費用も抑えられ、ライフサイクルコスト縮減にも寄与します。

壁材：選手やボールの衝突による衝撃を吸収し怪我や事故を防止するため、木製の下地・仕上げとします。スポーツ時の声や式典やイベントの際の音響に配慮し、壁には吸音性能を持たせます。壁の色はボールと明度差が出るよう、明度の低い色調とします。

天井：大地震時の天井崩落事故を教訓とし、天井材は貼らずに鉄骨トラスと屋根材裏貼り現しとします。室天井からの反射音や空調負荷に配慮し、吸音・断熱性能のある材料を使用します。

色彩：壁、天井共にボールとの明度差をつけ、競技に支障のないよう明度の低い色調とします。全体が暗くならないよう、床は明るめの色を採用しバランスの良い色彩計画とします。



メインアリーナ内観イメージ

※内観イメージ図は実施設計作業において変更となる場合があります。

## 1-7 外構計画

### 1-7-1 新体育館とウェルネスパークをつなぐ「(仮称)ウェルネスプラザ」のランドスケープデザイン

様々な世代の人々が、くつろぎと交流の図れる市民のためのプラザとして設えます。

プラザは新体育館のエントランスホールを含めた回遊性のある5つのエリアにゾーニングし、異なる性格を持つ島(緑地、広場)と園路により多様なアクティビティを展開します。

また、マルシェやフリーマーケットなどのイベント時には、パフォーマンスのできる広場や、キッチンカーが進入できる車路、エントランスホールと一体的な利用など、たくさんの市民の交流を促すことのできるプラザとします。

#### 1-7-1-1 ランドスケープゾーニング

「(仮称)ウェルネスプラザ」は、「新体育館」、「ウェルネスパーク」、「ハルニレの庭」との関係性を踏まえ、異なる性格の5つのエリアにゾーニングし、それぞれの施設をつなぐ空間とします。

**フロントエリア**：新体育館アプローチを含むエリア。市民が入り出する広場の顔として、駐車場に向かいベンチを設置し待ち合わせのできる空間とします。

**テラスエリア**：新体育館のエントランスホールの喜びが屋外へと広がるエリア。談話や勉強、読書など様々な活動が内外で繋がるよう、テーブルやベンチなどを設え、交流を促します。

**ストレッチエリア**：屋内のラウンジやボルダリング室から屋外へとつながる運動スペース。簡単なストレッチができるクッション性のある床材やファニチャーの設置を検討します。

**レクリエーションエリア**：エリア全体にちりばめられた大小様々なかたちの緑地と広場。それぞれのエリアに対応したファニチャーを設置し、多様なアクティビティを生み出します。全体を回遊できる約360mのループは緑のマウンドとステップで繋がりが回遊性を創出します。

**イベント広場エリア**：広場を囲む階段状のベンチと緑のマウンドが観客席になり、センターステージでのパフォーマンスを楽しめるミニ劇場となります。車も寄りつけできる通路を確保し、様々なイベントに対応できるよう計画します。

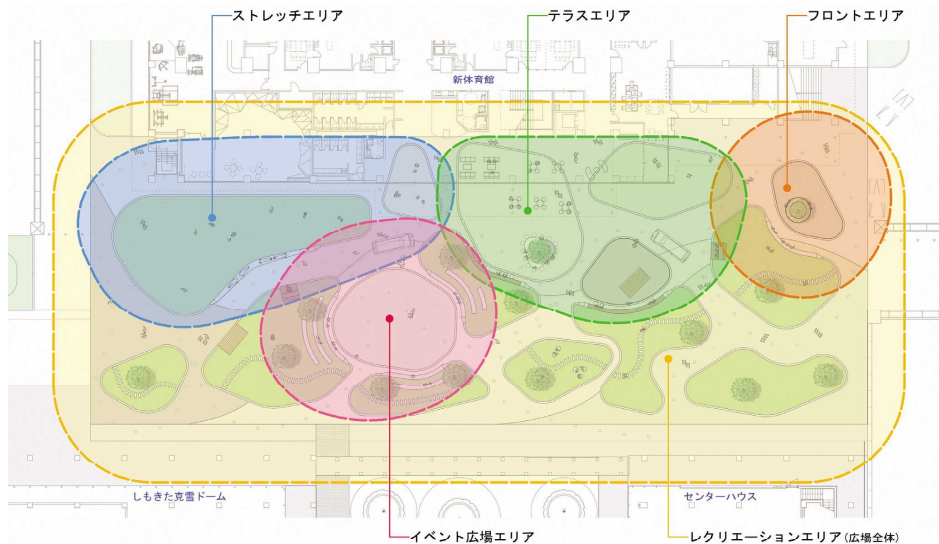


図 7-1 ランドスケープゾーニング案

### 1-7-1-2 「(仮称)ウェルネスプラザ」平面計画

ゾーニングに合わせて、各エリアを訪れる人が気分や目的に合わせて選択することができる多様な島を配置します。各島には、機能性と景観に配慮した様々な仕掛けを施し、多様なアクティビティを誘発します。

子ども連れで遊びに来る家族や、友達とおしゃべりをする学生、散歩を楽しむお年寄りなど、様々な世代の方々を利用・交流できる計画とします。



図 7-2 (仮称)ウェルネスプラザ平面計画案とファニチャーの例

### 1-7-1-3 「(仮称)ウェルネスプラザ」仕上げ計画

「(仮称)ウェルネスプラザ」の仕上げはメンテナンス性が良く、カラーバリエーションの豊富なインターロッキングブロックとカラーアスファルトを主体に計画します。「新体育館」のラウンジと一体感を持たせた計画とし、内外の連続性を強調します。

植栽は、芝生とハルニレにより隣接する「ハルニレの庭」との連続性を持たせます。冬季はマウンドに積もる雪により、緩やかな雪山のうねりが普段とは違う風景を創出します。

### 1-7-1-4 民間活力の活用(P-PFI事業)

「(仮称)ウェルネスプラザ」の整備については、民間活力を活用することにより、本エリアの整備・管理にかかる財政負担を軽減するほか、公園のサービスレベルの向上が期待されます。

民間事業者は収益施設(カフェなどの便益施設)に合わせ、広場等を一体的に整備することが可能となり、民間の創意工夫によるコスト削減、収益の向上にもつながる質の高い空間を創出できます。

このことから、公園施設等の整備と公共サービスの向上のため、都市公園法に基づく公募設置管理制度によるP-PFI(Park-PFI)事業の活用を検討します。



### 1-7-2 既存施設との一体感をもった植栽計画

現地の環境及び植生状況を踏まえ、現地環境に適し、かつ、メンテナンス性に優れた樹種を選定します。  
本工事は北側部分となりますが、将来的な周辺環境との調和を踏まえ、将来計画となる南側も含めた植栽計画を検討します。

#### 1) 現地環境及び既存植生状況の確認

- ・湿地耐性のあるイタヤカエデ及びハルニレは枯損には至っていません。
- ・南側臨港道路（海側）に面したハルニレは、塩害、寒風害、根腐れにより生育が悪い状況です。
- ・建設当時の「地場の植生を再生する」という方針により、堅強な樹種が密植され、統一感のない雑木林となっており、落葉樹も多く含まれ、頻繁な剪定や落葉回収等のメンテナンスがかかっています。

#### 2) 樹種の適正な選定条件

以下の条件を踏まえ樹種の選定を行います。

- ・南から西の強風時に海水の飛沫に対する耐潮性
- ・冬期間に釜臥山からの吹き下ろしに対する耐寒性
- ・地下水位が高く、また塩基類を含む土壌に対する湿地耐性
- ・敷地全体の統一感と周辺環境との調和
- ・維持管理のしやすさ（針葉樹、成長速度等）

#### 3) 景観や風向きに配慮した植栽計画

- ・敷地南面は前面道路に沿った街路樹として、ウェルネスパークとの景観調和を優先しハルニレで検討します。
- ・西、北面は防風雪効果を期待し、常緑樹で耐潮性、耐寒性のあるトドマツで検討します。
- ・敷地入口の両脇は、門柱代わりにチャボヒバとして、トドマツの列植にアクセントを付けます。

樹名	イメージ	樹名	イメージ
<b>ハルニレ</b> 【特徴】 ・既存南側道路沿い、ハルニレの庭に植樹 ・耐潮性、湿地耐性あり ・排水が悪い箇所は樹勢が弱い（盛土、水対策で改善可）		<b>トドマツ</b> 【特徴】 ・既存西側土手に植樹（現在は伐採） ・耐潮性、耐寒性あり（クロマツは耐湿性×、モミ・アカエゾマツは耐湿性×） ・列植に適した綺麗な樹形 ・防風・防雪に効果のある常緑樹 ・メンテナンス性の良い針葉樹	
<b>チャボヒバ</b> 【特徴】 ・既存にはなし ・耐潮性あり ・新葉が黄緑色で、トドマツの濃緑とバランスがよい ・刈り込みに適する ・防風・防雪に効果のある常緑樹 ・メンテナンス性の良い針葉樹		<b>イタヤカエデ</b> 【特徴】 ・既存駐車場内に植樹 ・生育も良好で適応性高 ・黄葉の景観木 ・落葉樹	

